

～鳥取型「新しい生活様式」実践向け～

令和2年6月15日作成  
(令和4年5月19日更新)  
鳥取県くらしの安心推進課

# ライブハウスにおける

## 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

新型コロナウイルス感染を予防し、営業を継続するため、ライブハウスが実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある感染リスクへの対策例を整理しました。

皆さんの施設の状況や実情等にあわせて実践してください。

※ この対策例は最新の情報に基づき適宜更新していきます。

### 新型コロナウイルス安心対策認証店制度

新型コロナ対策に自ら取り組む事業所を対象に、県が審査し認証を与える「新型コロナ安心対策認証店制度」を設けています。

原則としてガイドラインの全ての項目を適用し、対策を明記した対策の手順書を策定の上、実際の運用を行うことが必要です。

認証には、県の職員等による立入検査で感染拡大予防対策が独自の手順書どおり実施されているか確認を受けることが必要で、感染予防対策が講じられていると認められた施設には、認証書及びステッカーを交付します。



**新型コロナ対策で安全とおもてなしにつながる事業所へ、  
認証取得を県がサポートします。未参加のお店は是非、参加しましょう。**

詳しくは、県庁くらしの安心推進課までご相談ください。

認証店の情報は、**とっとりずむ** の特設サイトで紹介しています。

【くらしの安心推進課HP】



【認証特設サイト:とっとりずむ】



### LINEによるとっとり新型コロナ対策安心登録システム

このシステムにより発行されたQRコードを店舗に設置することで、店舗利用者がQRコードを読み込んだ店名、日時、LINEアカウントが県に登録されます。利用者が新型コロナウイルスに感染した可能性があるとして判断された場合、県からその情報をお知らせし、感染拡大防止に向けたお願いなどを案内します。

店舗へQRコードを掲示していただき、来店者に登録を促すようにお願いします。



問合わせ先  
新型コロナ克服くらしの  
安心相談・応援窓口

東部 県庁くらしの安心推進課  
中部 中部総合事務所環境建築局  
西部 西部ワンストップセンター

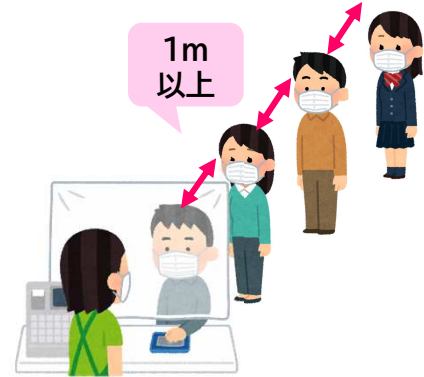
☎0857-26-7982  
☎0858-23-3982  
☎0859-31-9637

## 施設の感染防止対策 (例)

- 換気の徹底(CO<sub>2</sub>は1,000ppm以下)  
30分ごとに5分程度の換気



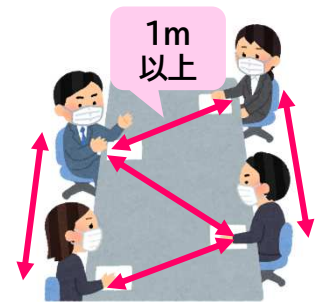
- 十分なフィジカルディスタンスの確保



- 手指消毒の徹底



- マスク着用の徹底



## 正しいマスクの着用



- 1 鼻と口の両方を確実に覆う
- 2 ゴムひもを耳にかける
- 3 隙間がないよう鼻まで覆う

## 正しい手洗いの方法



- 1 流水でよく手をゆらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・爪の隙を念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

## 消毒液の種類と用途

主な用途

石けん・ハンドソープによる手洗い 手指

アルコール (60%以上95%以下) 手指  
※県のガイドラインでは90%以下 物品

塩素系漂白剤等 物品  
(次亜塩素酸ナトリウム 0.05%以上)

※ 以下を参考に、市販の塩素系漂白剤（主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの）を薄めてください。  
 また、商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。

- ①ハイター、キッチンハイター（花王）  
水1Lに25mL（商品付属のキャップ1杯）
- ②ブリーチ、キッチンブリーチ（ミツエイ）  
水1Lに10mL（商品付属のキャップ1/2杯）

※ 樹脂製の手袋をつけて取扱いましょう。皮膚についた場合、ただちに水で洗い流しましょう。

※ 腐食性があるので、金属へ使用した後は必ず水拭きしましょう。

## 店舗の営業場面ごとの感染拡大予防対策

- ・公演主催者に対して、お客様が声援や歓声等の声を出すイベントの場合は、密集を避けるため会場定員の50%以下の集客とするよう要請しましょう。
- ・これまでの同様の出演者による開催実績や類似イベント等により、お客様が声援や歓声等の声を出さないとわかるイベントの場合は、会場定員の50%を超える集客が可能です。
- ・県内でライブ演奏等を伴うイベントを開催する場合は、開催2週間前までに新型コロナ克服くらしの安心相談・応援窓口に「イベント開催申出書」を提出してください。

※詳しくは以下のホームページを確認してください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/292741.htm>



- ・その他、公演イベントを開催する場合は、「公演イベントにおける事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、イベント主催者と協力の上、来場者に大声を出したり、大騒ぎしないよう呼びかけして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。

### 1 開場準備

- ・公演に関するリハーサル、撤去等に十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。
- ・スタッフに出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるスタッフは自宅待機させましょう。
  - ▶スタッフの体調不良を事前に把握することが重要です。出演者も同様です。
- ・感染したスタッフや濃厚接触者と判断されたスタッフの就業は禁止しましょう。
  - ▶体調不良の方が申し出られるよう、休暇を取りやすい環境・体制を作りましょう。
- ・開場に備えて施設及び会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
    - ① 窓を開けても風が入りにくい場合の工夫  
空気が入ってくる窓を小さく、空気を外へ出す窓を大きく開けて空気の流れを作りましょう。
    - ② 窓がない場合の工夫  
換気口も無い場合は、ドアを開けて扇風機、サーキュレーターなどで部屋の外に空気を出す流れを作りましょう。また、換気口がある場合は、ドアを開けて扇風機、サーキュレーターなどを換気口に向け、部屋の中に空気を流れ入れる環境を作りましょう。
- ・観覧スペース内の観客は、定員の50%未満とし、フィジカルディスタンス（1m以上）を確保しましょう。
- ・観覧スペースに客席を設ける場合、人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保できる配席にしましょう。客席を設けない場合は、フィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安を示しましょう。
- ・出演者が声を発生する演劇やコンサートの場合、ステージと観覧スペースの間を透明ビニールカーテン等で遮蔽しましょう。
  - ▶飛沫感染を防止することが重要ですので、観覧スペースでは大声を出したり、大騒ぎしないようにしましょう
- ・演奏機材の搬入、出演者等の出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。

- ▶出演者やスタッフを感染リスクから守ることも重要です。施設裏口等を活用しましょう。
- ・お客様が会場内で密集しないよう、行列が想定される場所にはフィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安を示したり、距離をとっていただくよう掲示をしましょう。
  - ▶会場入口、トイレ、ロッカー、物販ブース等、混雑が想定される場所の対策を行いましょ。
  - ▶立ち位置の目安が示せない場合は、お客様同士でフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。
  - ▶トイレの混雑対策として来場前に用便を済ますように事前に呼びかけたり、掲示を行いましょ。
- ・トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。
- ・楽器、モニタースピーカー等のライブハウスが準備して演者が共通して使用する機材も入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。
  - ▶機材を取り扱うスタッフを限定して、機材への接触を減らすことも有効です。
- ・出演者やスタッフは来客用のトイレの使用を控えましょ。
  - ▶接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょ。
- ・感染予防対策に万全を期していることや具体的な対策をスタッフで共有しましょ。
- ・公演主催者と相談して、施設の規模や換気性能に応じて、公演中の定期的な会場換気のための休憩回数や休憩時間を予め設定しましょ。
- ・公演主催者に、接触（モッシュやハイタッチ）や声援（コール&レスポンス）等の密集・密接を惹起する演出は控えるよう呼びかけましょ。
- ・公演でのアルバイト採用者や公演主催者の緊急連絡先を把握し、関係者の感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力しましょ。
- ・施設内でスタッフが密集せず、事業継続できるシフトを決めましょ。
- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう掲示をしましょ。
- ・感染予防のためサービス内容の変更・中止も検討しましょ。
  - ▶サービス内容を変更・中止する場合は、その旨を掲示しましょ。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策協賛店はステッカーを入口に掲示し、協賛店となる際に宣言した感染防止対策を徹底しましょ。
- ・鳥取県新型コロナ対策認証店はステッカーを入口に掲示し、認証店となる際に宣言した感染防止対策を徹底しましょ。
- ・厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の起動を呼びかける掲示物や、「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の登録を勧めるQRコードをレジ、待合や客席に掲示しましょ。

## 2 チケットの窓口販売

- ・購入待ちでお客様が密集しないようチケット販売窓口前に立ち位置を示して、間隔をあけて並んでいただくよう呼びかけましょ。
- ・直接の対面を防ぐためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょ。

- ・ 来場者の氏名や緊急連絡先を把握できるデジタルチケットや電子決済を活用しましょう。現金等を扱う場合は手渡しを避け、トレイに置いて受け渡しましょう。

### 3 入場（開場）

- ・ チケット確認するスタッフはマスク（不織布製を推奨。以下同じ。）を着用するなど咳エチケットを実践するとともに、直接の対面を避けるためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。

▶デジタルチケット等の活用による非接触の入場受付やお客様自身が切ったチケットの半券をスタッフが確認する方法も検討しましょう。

- ・ 会場出入口や物販スペースでお客様が密集しないよう、間隔をあけて並ばせたり、チケット番号等により入場できる時間やグッズを購入できる時間を設けるなどの対応をしましょう。
- ・ 出演者が直接お客様に物販する場合は、出演者にマスクを着用させ、握手等の接触を控えるよう要請しましょう。

▶開場から開演までの時間を長めにとって、入場や物販の混雑を緩和しましょう。

- ・ 来場時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の入店はお断りしましょう。

▶お客様の体温確認のため、非接触型の体温計の導入も検討しましょう。

- ・ 来場時にお客様がマスクを着用していることを確認し、食事中以外はマスクを着用するよう要請しましょう。

▶マスクを持っていないお客様に備えて、提供できるマスクを用意しましょう。

- ・ 来場時に厚生労働省が提供している接触確認アプリ（COCOA）の利用及び「とっとり新型コロナウイルス対策安心登録システム」の登録を推奨しましょう。

- ・ 出入口や会場入口に手指の消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請しましょう。

▶施設内での手指の洗浄や消毒の励行も呼びかけましょう。

- ・ お客様に、パンフレット等を手渡しで配布することを避けるとともに、出演者へのプレゼントも受け付けないようにしましょう。

- ・ お客様に、施設や会場内外での大声の発生や過度な飲酒は控えていただくよう要請しましょう。

▶施設内放送による呼びかけ等も有効です。

- ・ お客様がロッカー付近で密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保できるだけのロッカー数を予め設定し、使用について予約制を取り入れましょう。

- ・ お客様が会場に入場した後も施設及び会場の扉や窓を開けるなど、公演開始直前まで施設全体の換気をしましょう。

▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。

- ・ お客様に、公演中は公演主催者の感染拡大予防対策に従うよう呼びかけましょう。

### 4 食事（該当する場合）

- ・ 食事を提供する場合は、「飲食店における事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。

## 5 公演中

- ・換気扇を常時稼働させるとともに、会場の窓やドアを開け、給気と排気を確保しましょう。
- ・休憩時間に施設及び会場の扉や窓を開けるなど、定期的に施設全体の換気をしましょう。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・観客は、常時マスクを着用し、大声を出さないよう要請しましょう。

## 6 退場（閉店）

- ・会場出入口や施設出入口でお客様が密集しないよう、チケット番号等による規制退場を誘導しましょう。
  - ▶退場する際もお客様同士で間隔をあけていただくよう呼びかけましょう。
- ・会場を出た後は、お客様が施設内外で密集しないように速やかな帰宅を呼びかけましょう。

## 7 閉店後

- ・明日の公演に備えて、施設及び会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇、扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・店舗内清掃を徹底し、トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分や、楽器、モニタースピーカー等のライブハウスが準備して出演者が共通して使用する機材は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- ・スタッフのユニフォームや衣装はこまめに洗濯しましょう。
- ・ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょう。

## 8 店舗の管理

- ・換気設備を定期的に点検しましょう。
- ・洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう呼びかけましょう。
- ・手洗い後は、ペーパータオルを設置するか、個人用タオルの利用を促しましょう。ハンドドライヤーを使用する場合は、定期的な清掃や消毒をしましょう。
- ・ゴミはゴミ箱（蓋つきが望ましい）に入れて密閉しましょう。
- ・出演者の控え室等も換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底しましょう。
- ・控え室等では、使い捨ての紙皿やコップを使用しましょう。
- ・従業員の控え室等も換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底しましょう。休憩室を複数人が利用される場合は、マスク着用、ディスタンスの確保のほか、会話を控え、定期的な換気を心がけましょう。